



2009年3月期 第1四半期 決算説明資料

2008年7月28日

NECフィールドディング株式会社

目次

1. 決算概要

2. トピックス [4～6月]

3. 2009年3月期 通期見通し

4. 2009年3月期 第2四半期見通し

主要経営指標

連 結

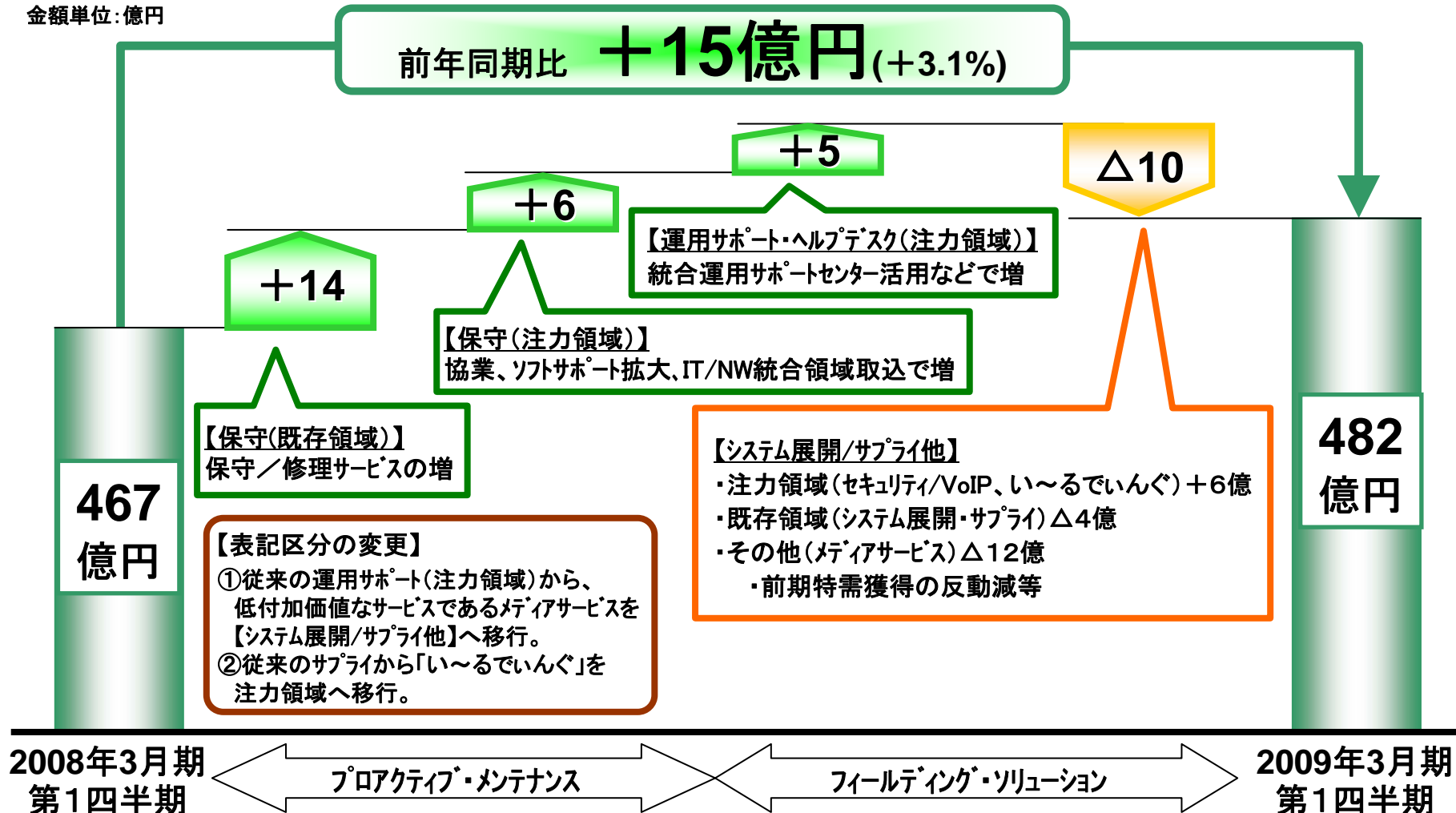
金額単位：億円

	2009年3月期 第1四半期 4～6月実績		前年同期比	
		売上高比	増 減	伸び率
➡売上高	482	—	+15	+3.1%
➡プロアクティブ・メンテナンス	249	51.6%	+20	+8.7%
➡フィールドイング・ソリューション	233	48.4%	△5	△2.2%
➡営業利益	8	1.8%	△6	△42.3%
➡経常利益	11	2.3%	△6	△34.4%
➡四半期純利益	3	0.7%	△6	△65.8%
➡一株当り純利益 (円)	5.79	—	△11.15	△65.8%
➡フリーキャッシュフロー	+14	—	△2	—

売上高増減要因(対前年同期比)

- 保守既存領域と注力領域の伸長により、既存領域および特需案件の反動等による減収をカバー

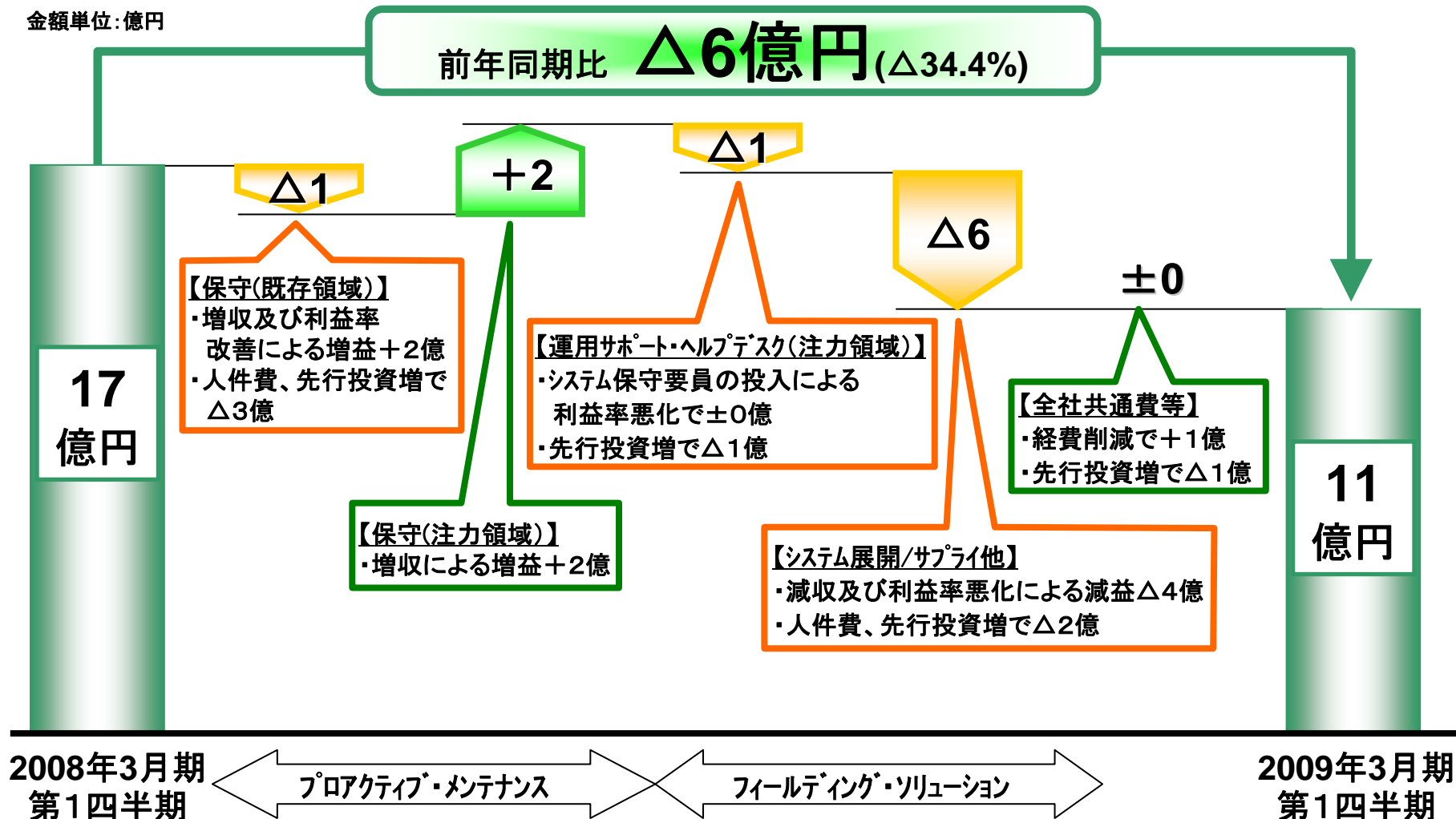
金額単位: 億円



経常利益増減要因(対前年同期比)

- フィールディング・ソリューションの減益をプロアクティブ・メンテナンスの増益でカバーし、+1億円とするも人件費と先行投資の増加(△7億円)により、△6億円減益となる

金額単位: 億円



第1四半期 トピックス

▶ NECグループとしての連携強化

- ◆ フィールディング ビジョン・バリュー策定(6月)
 - ・中長期的視点でみた、フィールディングのあるべき像である『ビジョン』、ビジョンを達成する為、従業員ひとり一人が大切にすべき価値観、行動原理である『バリュー』を策定
- ◆ NECブランド強化として、**FIELDING** ロゴを **NEC** に変更統一(7月)
(平成21年3月末までに完了予定)

▶ 地域社会貢献活動と文化支援活動への積極的な取り組み

- ◆ 地域社会貢献活動が評価され、「NEC CSR AWARDS 2008 社長賞」受賞(5月)
 - ・NECグループの地域社会貢献運動において、あらゆる分野での活動と「フィールディングの森」植林ツアーなどの新しい取り組みが評価
(参加拠点:414拠点、活動項目:1,956項目、参加人数:延18,376人)
- ◆ 世界遺産劇場第七幕(白川郷)に継続して協賛(5月)

▶ 岩手・宮城内陸地震への迅速な対応(6月)

- ・地震発生から15分後に災害対策本部を設置
- ・障害コール70件受付、10日間で全ての対応を完了

2009年3月期 通期見通し

2008年5月14日公表値から変更なし

金額単位：億円

主要経営指標	2009年3月期 通期見通し		前期比	
		売上高比	増減	伸び率
➡売上高	2,200	—	+59	+2.7%
➡プロアクティブ・メンテナンス	990	45.0%	+12	+1.3%
➡フィールドイング・ソリューション	1,210	55.0%	+47	+4.0%
➡営業利益	96	4.4%	+8	+8.2%
➡経常利益	100	4.5%	+7	+6.9%
➡当期純利益	52	2.4%	+2	+3.1%
➡ROE(自己資本利益率) (%)	7.6	—	△0.1	—
➡一株当り配当金 (円)	40.0	—	+10.0	—
➡50周年記念配当：一株当り (円)	—	—	△10.0	—

2009年3月期 第2四半期累計(4~9月)見通し

2008年5月14日公表値から変更なし

金額単位：億円

主要経営指標	2009年3月期 第2四半期見通し		前期比	
		売上高比	増減	伸び率
↘売上高	1,040	—	+38	+3.7%
↘営業利益	38	3.7%	+1	+3.8%
↘経常利益	41	3.9%	+1	+3.2%
↘当期純利益	18	1.7%	△4	△17.2%
↘一株当り配当金 (円)	20.0	—	+5.0	—

資料についてのご注意

本資料に記載いたしました認識、戦略、計画などのうち、将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないために、不確定な要因を含んでおります。

実際の業績は、さまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供するサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。